

日本糖尿病協会神奈川県支部（神奈川県糖尿病協会）

理事会・指導医会議事録

開催日時：平成 23 年 1 月 23 日（日）12:00～14:00

開催場所：Sun-mi 高松 伊勢佐木町店

出席者：（別紙 事務局保管名簿を追記）

開会の辞 半田会長から本日の理事会・指導医会開催の趣旨について説明され、特に糖尿病食を楽しみながらの歓談を願う挨拶がなされた。

献立説明 常盤 常盤理事から配布資料 7 の本日の食事献立に沿って、total500kcal に設定された食事について説明がなされた。

食事・歓談 患者さん会員を代表して、外岡監事による音頭で乾杯。

指導医会審議事項

1. 平成 23 年度および平成 24 年度日本糖尿病協会総会

平成 23 年度日本糖尿病協会総会は、札幌で開催される日本糖尿病学会年次学術集会と別に、協会 50 周年記念行事と合わせて東京で開催される旨が連絡された。

平成 24 年度日本糖尿病協会総会は、神奈川県支部が協会本部と共に運営にあたること、開催場所はいずれも横浜市（パシフィコ横浜）であることが連絡された。同時期に開催される市民講座は、日本糖尿病協会と日本糖尿病学会の共催となる。市民講座の企画についてご提案を頂きたい旨も併せて伝えられた（ご提案先：神奈川県支部事務局）。尚、具体的内容については協会と学会の協議の上で決定されることも連絡された。

2. 指導医会の勉強会（配布資料 8）

指導医会の活性化を図るための勉強会企画が提案された。目的、趣旨について賛同が得られた。初回の候補テーマは ASO である。開催候補日は下記の形となった。

第 1 候補日：6 月 8 日（水） 於：ホテルキャメロットジャパン

第 2 候補日：6 月 1 日（水） 於：ホテルキャメロットジャパン

3. 治験依頼

日本糖尿病協会神奈川県支部の指導医会の先生方に、可能な範囲で糖尿病に関連する治験へのご協力を頂きたい旨が伝えられた。詳細は、別途半田会長から伝えられる。

4. 2 月 11 日の研究会案内

2 月 11 日に開催される「医師およびメディカルスタッフのための第 27 回糖尿病セミ

ナー」(於：新都市ホール・そごう9階)に奮ってご参加頂きたい旨が連絡された。尚、本セミナーでは日本糖尿病協会神奈川県支部(神奈川県糖尿病協会)の活動報告もなされる予定である。

5. カンバセーションマップ進行役講習

現在、日本糖尿病協会ではカンバセーションマップを利用した患者さん指導を推進している。その進行役をトレーニングする講習会の受講には支部長(半田会長)もしくは糖尿病対策推進委員(津村副会長)の推薦状が必要となる。希望されるコメディカルスタッフがおられる場合には、推薦状(基本様式は日本糖尿病協会本部のホームページからダウンロード可能)を神奈川県支部事務局に送付頂きたい旨が連絡された。

理事会審議事項

1. 平成22年度1-3月および平成23年度行事計画 (配布資料5)

配布資料5の通り、平成22年度1-3月および平成23年度の行事を予定している。引き続き、食事勉強会・ウオークラリー・市民公開講座等を予定している。

2. 第4回食事会の案内 (配布資料9)

平塚市民病院の服部栄養士から食事勉強会に関する案内がなされた。

3. 平成23年度研修旅行のお知らせ (配布資料10)

遠藤栄養士および半田会長、常盤理事から研修旅行(案)に関する案内がなされた。本研修旅行では、エネルギー量を適切に設定した食事の提供、糖尿病に関するレクチャー、フットケア指導が予定されている。また、医師・看護師も同行予定である。募集人数は30名を予定している。

4. 平成23年度ウオークラリーの候補地

常盤理事から平成23年度のウオークラリー開催候補地について審議頂きたい旨が提案された。最近数年間は、「横浜動物園ズーラシア」、「こどもの国」で開催されてきた。数百人が安全にウオーキングできることを勘案すると、入退場の管理がなされる広い場所が適切であること、従来の開催場所に特段の支障がなかったこと等より、来年度も上記2箇所を軸として候補地決定を進めていくことにつき、全会一致で了承された。

5. 患者会長会・栄養士会の提案

常盤理事から「患者会長会」「栄養士会」の新設が提案された。「患者会長会」「栄養士会」の新設は、日本糖尿病協会の本来の趣旨に合致し、今後の患者会の発展に繋がるとの意見が出された。「患者会長会」「栄養士会」の新設について全会一致で了承された。

尚、「患者会長会」「栄養士会」の具体的な運営方法については、今後検討していくことになった。

6. その他

① 糖尿病連携手帳の案内

津村副会長から「糖尿病連携手帳」が新たに発行されたことが伝えられた。また、大規模病院における糖尿病外来診療のシステムが全国で変わりつつあること、これと連動して大規模病院における糖尿病患者会の在り方も変わりつつあることが説明された。

② 糖尿病啓発資材開発に関連する依頼

津村副会長から、日本糖尿病協会と厚生労働省の共同作業として「患者さんの視点で創る糖尿病啓発資材」の開発が進んでいることが説明された。その資材開発に生かすために、糖尿病患者さんの「人生の分岐点」を神奈川県支部事務局にお寄せ頂きたい旨が連絡された。

③ 平成 23 年度以降の年会費

平成 23 年度以降の年会費変更に関する本部決定に関する質問が坂本理事からなされた。その後、複数の理事から同様の質問がなされた。年会費変更の背景には、法改正に伴い日本糖尿病協会が 2013 年 11 月までに一般社団法人・公益社団法人のいずれかに移行するか、解散せねばならないこと、そして日本糖尿病協会は公益社団法人としての認可を目指していること等がある旨が、津村副会長から説明された。また、平成 24 年度以降は各都道府県支部の活動内容に基づいて都道府県支部向けの還付金が見込まれている旨が、常盤理事から説明された。現時点では、平成 23 年度以降の年会費に関する本部の最終方針が定まっていない旨も併せて、津村副会長・常盤理事から説明された。尚、本部会費と県支部会費を二重に支払うことは想定されていないことも説明された。平尾顧問より、現在の様な流動的な状況下では神奈川県支部として本部の方針に従うべきではないとの意見が出された。松葉理事から「さかえ」の発行には現在の販売額以上に多くのコストがかかっている実情についての説明がなされた。討議を踏まえて、神奈川県支部として平成 23 年度以降の年会費変更に関する意見書を提出すべきとの意見が大勢を占め、顧問と会長により作成した文章を提出する方針となった。

※ 理事会審議事項 2 つ目の前に、参加指導医による挨拶・患者会紹介・

糖尿病指導関連活動の紹介等がなされた。

【配布資料一覧】

1. 式次第
2. 指導医会会員名簿
3. 参加施設一覧
4. 役割分担一覧
5. 平成 22 年度 1-3 月および平成 23 年度行事予定（案）
6. 糖尿病協会メモ
7. 本日の食事献立
8. 指導医会勉強会（案）；指導医のみ
9. 第 4 回食事勉強会案内
10. 研修旅行（案）および施設案内
11. 糖尿病連携手帳：希望者のみ